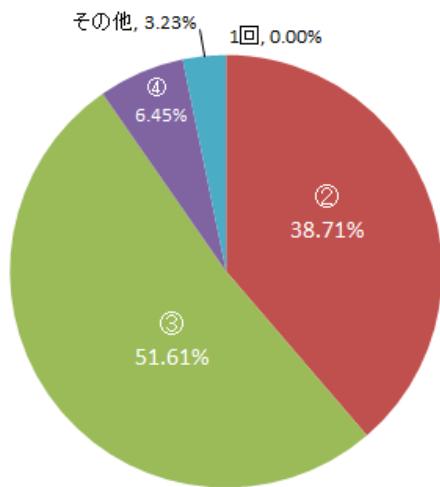


PTA 広報委員会に関するアンケート 結果

平成 27 年度 県高 P 連 広報委員会

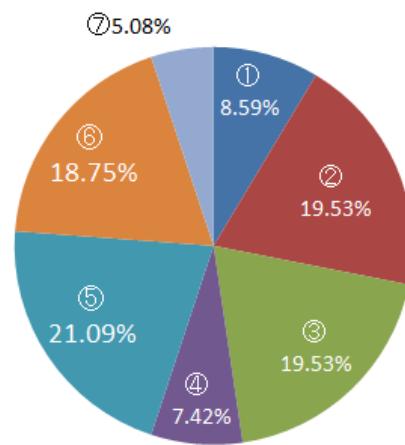
Q1. 広報紙は年間何回の発行ですか?

- A1 ① 1 回
 ② 2 回
 ③ 3 回
 ④ 4 回
 ⑤ その他



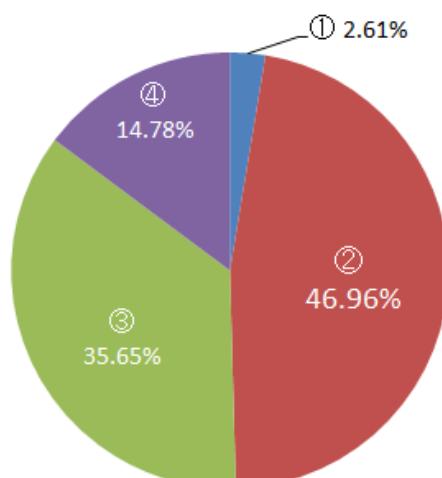
Q2. 広報紙を発行するうえで、課題となっていることは何ですか?(複数回答)

- A2. ①記事の執筆
 ②記事が毎年同じ
 ③生徒の写真の扱い
 ④予算
 ⑤編集作業が特定の人に偏る
 ⑥編集のために集まる回数が多い
 ⑦その他



Q3. ホームページについて、あてはまるものに○をつけてください。

- A3. ①PTA のホームページがあり、広報委員会で管理している
 ②PTA のホームページがあるが、管理は広報委員会ではない
 ③PTA のホームページはない
 ④よくわからない



Q4.広報委員会のための勉強会に希望することはどんなことですか?

- ・写真のとり方
- ・文章の書き方やタイトルの決め方
- ・他校の広報紙を見て質問や意見交換がしたい。(その意味で今回は良かった)
- ・企画や調査などのアイデアの出し方
- ・広報委員全員が参加できる研修
- ・学校行事を追うだけではないテーマの決め方
- ・文章力が身に着く講習
- ・毎回同じ内容になるので、違った目線での企画の立て方
- ・良い印刷会社の選び方
- ・広報紙コンクールで入賞する学校の活動が知りたい
- ・個人情報の取扱い
- ・委員会の活動内容について
- ・特集のテーマの決め方
- ・肖像権の規制が多く、プロ目線での突破口を勉強したい
- ・

今回の研修大会への意見

《好意的な意見》

- ・わが校の広報部員を各テーブルに潜り込ませたいくらい勉強になりました。
- ・今日の内容を広報紙にかかわるすべての方が聞けば、広報紙作りが変わっていく気がしました。
- ・いろんな学校と話ができるよかったです。とても勉強になりました。
- ・今日の先生の話をもっとじっくり聞きたかった。
- ・とても良い研修でした。終日でもよかったです。

《否定的な意見》（異なる切り口での開催を求めるもの）

- ・広報委員会の存続にかかわる話し合いがしたかった。写真や記事がどうのということではない。
- ・何のためのセミナーかわからない。レイアウトはセンスの問題、文章も・・・。

【考察】

単位PTA広報委員会の、PTAホームページへの関与は予想以上に少ないことが分かった。

セミナー・講習に関しては、写真や文章といったテクニカルなもののはかに、学校行事以外を記事にするための企画の立て方を希望する声が多かった。研修委員会のアンケートでも、広報分科会は比較的好評で、且つテクニカルなものへの需要が多いことが改めて理解できた。

同時に、なり手のすくない広報委員会の運営に関する意見交換を期待する声も一分に強くあった。以上のことから、広報へのセミナー・講習はテクニカルなものと、マネジメントに関する情報交換の2種類を分けて実施することが望まれる。とりわけテクニカルなものに関しては、多くの委員が同時に参加できる体制を望む声が多いことも考慮に入れるべきである。